

被災者を元気づけようとCDを制作した平岡高軽音楽部の部員たち



## 札幌平岡高軽音楽部

札幌平岡高（札幌市清田区）の軽音楽部が、東日本大震災の発生から4年が経過したことに合わせ、被災者を元気づけようとオリジナル曲を収録したCDを制作し、道内在住の避難者や東北の高校に贈った。

# 被災者元気づけるCD

## 避難者の詩を基に制作 東北の高校に贈る

軽音楽部は震災直後から「Challenge for your smile」と名付け、津波の被害に遭った宮城県の高軽音楽部に音響機材を贈ったり、札幌市内でチャリティーコンサートを開いたりするなど、復興支援に取り組んできた。

CD制作は2012年3月に続き2度目。被災地から道内に避難した人の詩を基にするなど3曲を収録した。今月8日に、道内の避難者でつくる「みちのく会（札幌）のほか、軽音楽部や合唱部がある岩手、宮城、福島県の計21高校に郵送でプレゼントした。

故郷への思いをテーマにしたバラード曲でドラムを担当した2年生の渡辺萌さん（17）は父の実家が仙台にあり、親類から被害の大きさを聞いていたといい、「私たちの曲を聴いて、気持ちが前向きになる人が増えれば」と願う。

CDは今後、札幌市内で開くコンサートなどでも1枚100円で販売し、売り上げを被災地の支援に充てる予定。2年生の筑田響生部長（17）は「被災地を続けて応援するきっかけになりたい」と話している。

（渡辺淳一郎）